

平成21年度

埼玉県後期高齢者医療広域連合
主要施策の成果報告書

目 次

1	平成21年度一般会計決算状況	1
2	一般会計主要施策の成果	4
3	平成21年度特別会計決算状況	6
4	特別会計主要施策の成果	9
	〈参考資料〉	13
	被保険者の加入状況	
	医療給付費の支給状況	
	高額療養費の支給状況	
	移送費の支給状況	
	葬祭費の支給状況	
	保健事業の実施状況	
	後期高齢者医療費等に係る決算状況	

平成 2 1 年度一般会計決算状況

【平成21年度一般会計決算状況】

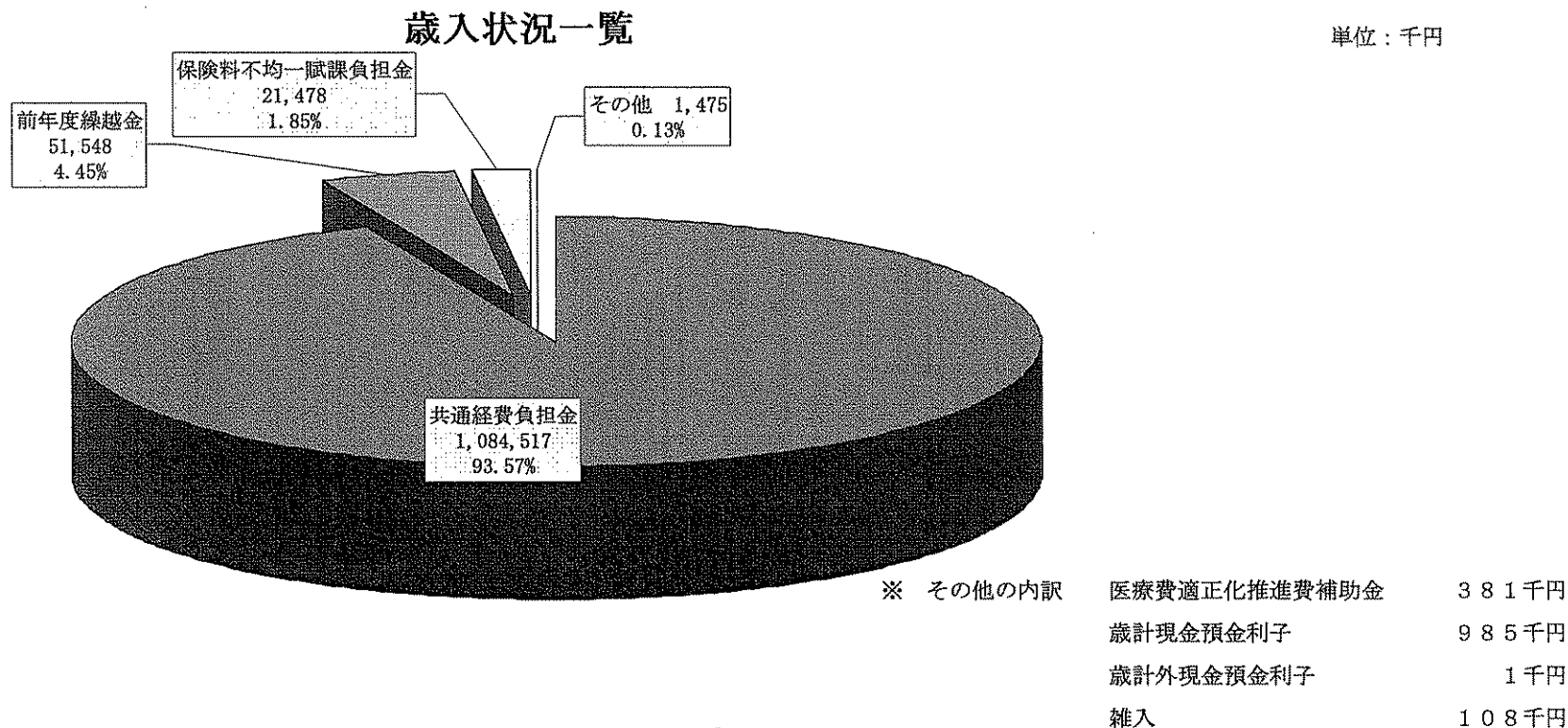
1 総括

平成21年度予算は、埼玉県後期高齢者医療広域連合の運営、管理に必要な各経費を主に計上しており、一般会計歳入歳出予算額は最終的に11億5,819万8千円となりました。

また、一般会計歳入歳出決算額は歳入が11億5,901万8千円であったのに対し、歳出は11億1,852万2千円であり、歳入歳出差引額は4,049万6千円となっております。平成21年度は、翌年度に繰り越すべき継続費逓次繰越額や繰越明許費繰越額等はありませんので、実質収支額も同額となります。

2 歳入

構成市町村からの共通経費負担金が10億8,451万7千円で、歳入全体の93.57%、前年度繰越金が5,154万8千円で同4.45%、老人医療費が著しく低い市町村に設定された保険料に対する減額補てん分を国と県が負担する保険料不均一賦課負担金が2,147万8千円で同1.85%、その他の収入額が147万5千円で同0.13%となっています。



3 歳 出

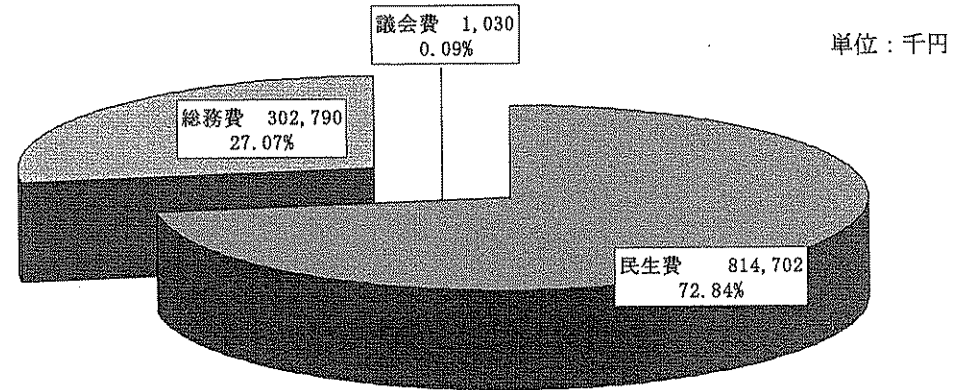
目的別では、議会費が103万円で歳出全体の0.09%、総務費が3億279万円で同27.07%、民生費が8億1,470万2千円で同72.84%となっております。

性質別では、人件費が39万2千円で歳出全体の0.04%、物件費が4,956万4千円で同4.43%、補助費等が2億5,386万4千円で同22.70%、繰出金が8億1,470万2千円で同72.84%となっております。

歳出の目的別内容

- 議会費 7月、11月、2月と計3回の議会を開催し、広域連合の条例、予算案等を審議しました。
- 総務費 広域連合の運営や事務処理を円滑に執行しました。
- 民生費 後期高齢者医療制度事業に係る事業費及び事務経費を特別会計に繰出しました。

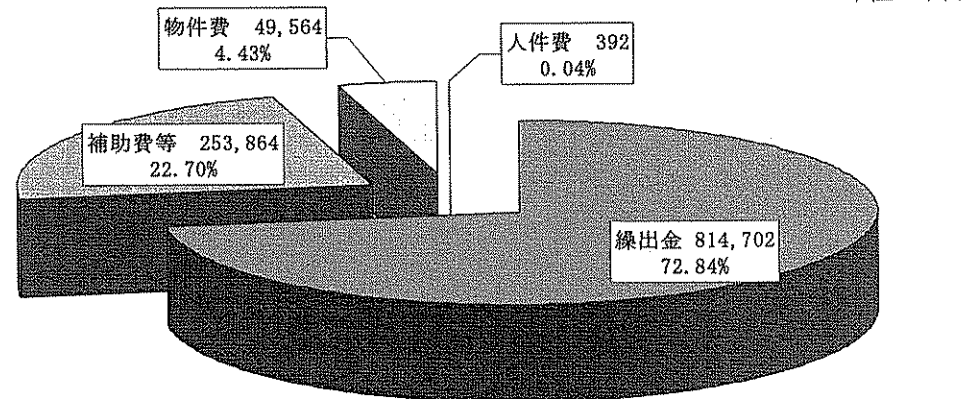
目的別決算一覧



歳出の性質別内容

- 人件費 議員報酬や各種審議会等の委員報酬。
- 物件費 各種の委託契約に係る経費や物品の購入費用等。
- 補助費等 職員の派遣元自治体に支出している負担金や各種団体への負担金。
- 繰出金 一般会計から特別会計への繰出金。

性質別決算一覧



【一般会計】

主要施策の成果

【一般会計】主要施策の成果

議会費

課名・事業名	執行額		金額(千円)	事業の概要
	節	細節		
総務課 広域連合議会運営事業 予算現額：1,418千円	01 報酬	議員報酬	305	定例会2回、臨時会1回を開催し、17議案と請願1件の審議、審査を行った。
	09 旅費	費用弁償	18	
	11 需用費	消耗品費	1	
	12 役務費	通信運搬費	51	
	13 委託料	会議録作成委託料	513	
	14 使用料及び賃借料	議会会場使用料	142	
		計	1,030	

総務費

課名・事業名	執行額		金額(千円)	事業の概要
	節	細節		
総務課 後期高齢者医療懇話会開催事業 予算額：762千円	08 報償費	高齢者医療懇話会報償金	278	懇話会を3回開催し、後期高齢者医療制度や広域連合の円滑かつ適正な運営に向けて、広く関係者の意見を聞いた。
	11 需用費	食糧費	3	
	12 役務費	通信運搬費	9	
		高齢者医療懇話会保険料	3	
	13 委託料	会議録作成委託料	102	
	14 使用料及び賃借料	会議室使用料	26	
		計	421	
財政分析委託事業 予算現額：1,356千円	13 委託料	財政分析委託料	263	財政状況分析、財務諸表（貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書）の作成を行った。
		計	263	
事務局職員給与等負担金 予算現額：276,800千円	19 負担金補助及び交付金	事務局職員給与等負担金	253,083	事務局職員33名の給与等相当分に係る負担金を支払った。
		計	253,083	

平成 2 1 年度特別会計決算状況

【平成21年度特別会計決算状況】

1 総括

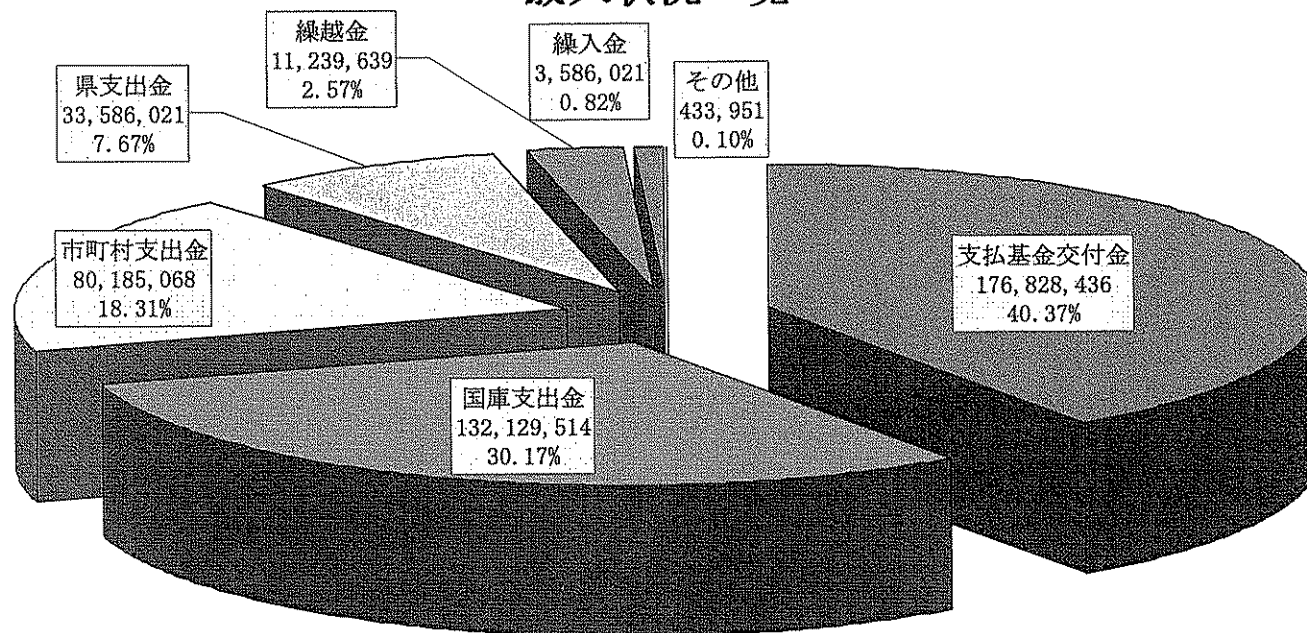
平成21年度予算は、医療給付費等に係る予算を中心に計上しており、特別会計歳入歳出予算額は最終的に4,353億3,816万9千円となりました。

また、特別会計歳入歳出決算額は歳入が4,379億8,933万円であったのに対し、歳出は4,259億5,005万円であり、歳入歳出差引額は120億3,928万円となっております。平成21年度は、翌年度に繰り越すべき継続費通次繰越額や繰越明許費繰越額等はありませんので、実質収支額も同額となります。

2 歳入

支払基金交付金が1,768億2,843万6千円で、歳入全体の40.37%、国庫支出金が1,321億2,951万4千円で同30.17%、市町村支出金が801億8,506万8千円で同18.31%、県支出金が335億8,602万1千円で同7.67%、前年度繰越金が112億3,963万9千円で同2.57%、繰入金が35億8,670万1千円で同0.82%、その他が4億3,395万1千円で同0.10%となっております。

歳入状況一覧



単位：千円

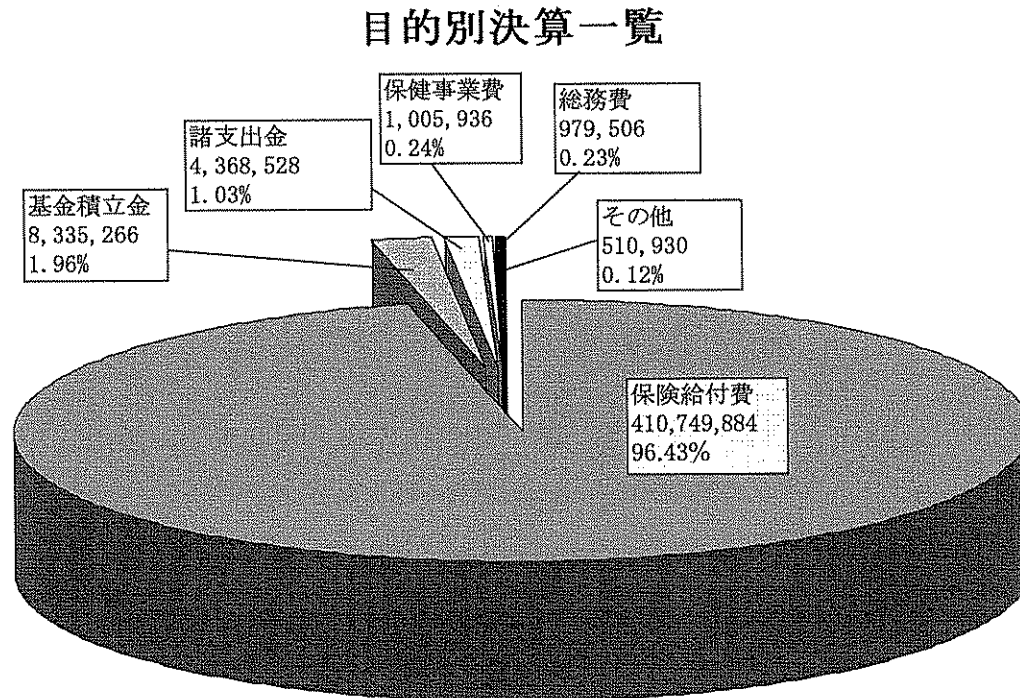
※その他の内訳

特別高額医療費共同事業交付金	83,352千円
諸収入	343,598千円
財産収入	7,001千円

3 歳 出

目的別では、保険給付費が4,107億4,988万4千円で歳出全体の96.43%を占めており、基金積立金が83億3,526万6千円で同1.96%、諸支出金が43億6,852万8千円で同1.03%、保健事業費が10億593万6千円で同0.24%、総務費が9億7,950万6千円で同0.23%、その他が5億1,093万で同0.12%となっております。

単位：千円



※その他の内訳 県財政安定化基金拠出金 460,632千円
特別高額医療被共同事業拠出金 50,298千円

【特別会計】

主要施策の成果

【特別会計】 主要施策の成果

総務費

課名・事業名	執行		額 金額(千円)	事業の概要
	節	細節		
総務課 電算機器運用・維持管理事業 予算現額：312,740千円	13 委託料	広域連合システム市町村機器保守委託料	17,484	標準システムの機器類（サーバ・端末・プリンタ等）をリースにより調達するとともに、適切な維持管理のために保守・運用管理業務を委託により行った。 また、処理データの増加に伴い、バックアップ用外部記憶装置及び端末を購入した。
		国保連合会業務委託料等	247,789	
		増設機器保守管理委託料	17,420	
	14 使用料及び賃借料	広域連合システム機器等賃借料	28,111	
	18 備品購入費	標準システム機器購入費	320	
		計	311,124	
総務課 レセプト点検業務用機器整備事業 予算現額：4,547千円	18 備品購入費	庁用器具購入費	971	レセプト点検業務の実施に伴い、必要となる什器及び端末等の整備を行った。
		レセプト点検機器購入費	2,898	
		計	3,869	
保険料課 印刷製本事業 予算現額：24,465千円	11 需用費	印刷製本費	10,071	後期高齢者医療制度の広報・周知のため、被保険者証交付時用ミニガイド、保険料納付通知書送付時用ミニガイド、制度説明用ハンドブック、障害認定申請者説明用パンフレット、被保険者証切替え時の広報用ポスター、検査証を作成した。 被保険者証交付時用ミニガイド（74.7万部）、保険料納付通知書送付時ミニガイド（80万部）、制度説明用ハンドブック（21.3万部）
			計	
保険料課 被保険者証等作成業務委託事業 予算現額：96,474千円	13 委託料	被保険者証等作成業務委託料	45,212	年次一斉更新のための被保険者証の作成及び封入・封かんとあわせ、市町村が使用する年齢到達者用の被保険者証を作成した。 被保険者証57万部、年齢到達者用被保険者証24万部
			計	
給付課 損害賠償求償事務委託事業 予算現額：8,264千円	13 委託料	損害賠償求償事務委託料	7,721	交通事故等による療養等、第三者行為に係る損害賠償求償事務について業務委託した。 件数割（354 件 × @1,600円） 求償割額（286,168,749円 × 2.5 %）
			計	

総務費

課名・事業名	執行		額 金額(千円)	事業の概要
	節	細節		
給付課 レセプト点検委託事業 予算現額：34,832千円	13 委託料	レセプト点検委託料	25,880	医療給付費の適正化を図るため、診療報酬明細書等（レセプト）の内容点検業務を委託した。
		計	25,880	
給付課 レセプト保管等委託事業 予算現額：4,186千円	13 委託料	レセプト保管等委託料	4,144	紙レセプトに係る保管、集配及び廃棄処分を行なうため業務委託した。
		計	4,144	
給付課 医療費通知作成業務委託事業 予算現額：58,476千円	13 委託料	医療費通知作成業務委託料	53,516	医療機関等受診状況の通知作成について業務委託した。 (1,230,483通 2回実施)
		計	53,516	
給付課 後期高齢者医療に関する事務の 代行業務委託事業 予算現額：192,996千円	13 委託料	標準システム事務代行委託料	190,711	標準システムの適用業務、運用処理業務及び診療報酬明細書等（レセプト）の被保険者資格確認作業等について業務委託した。
		計	190,711	
給付課 医療支給決定通知作成業務委託 事業 予算現額：20,878千円	13 委託料	支給決定通知作成業務委託料	20,428	標準システムから必要データを抽出し、葬祭費、療養費及び高額療養費に係る支給決定通知書の作成について業務委託した。 (葬祭費 30,903通、療養費 13,494通、高額療養費 563,590通)
		計	20,428	

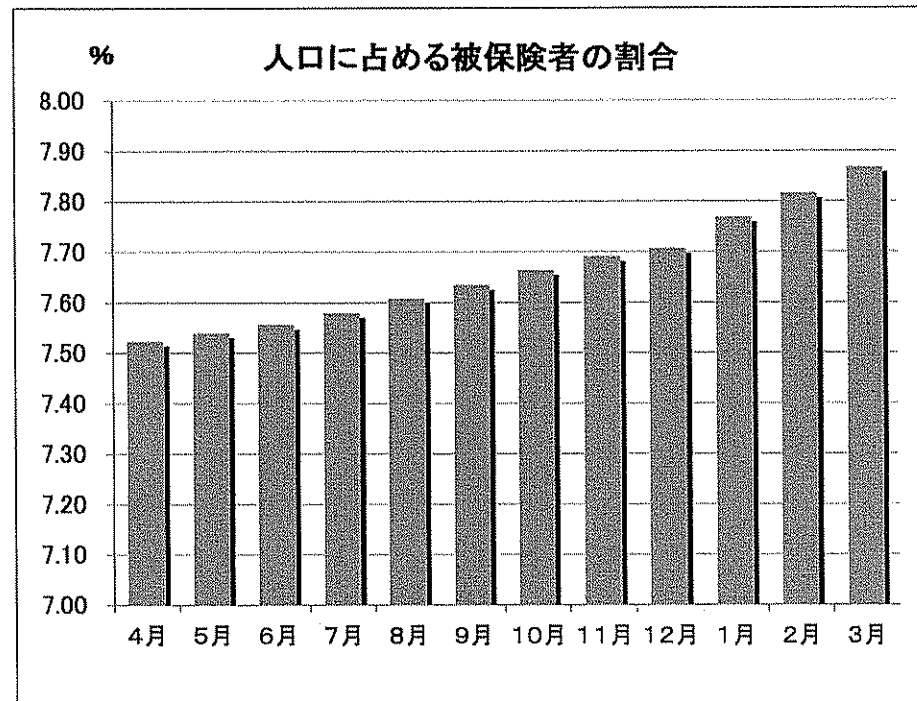
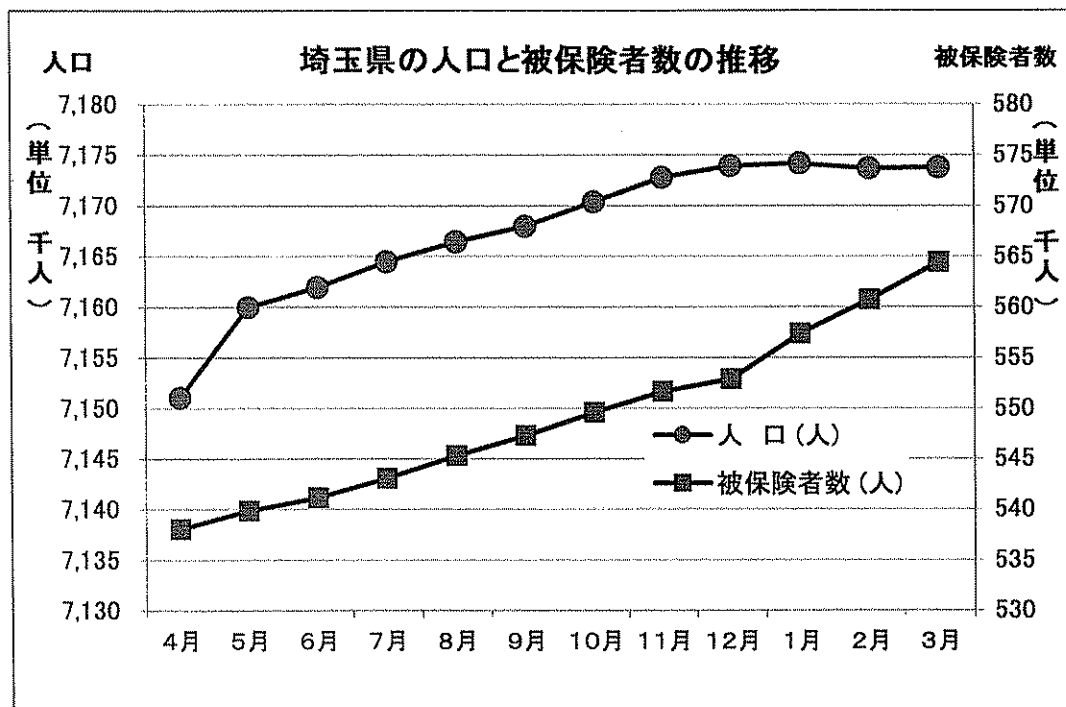
保険給付費

課名・事業名	執行額			事業の概要
	節	細節	金額(千円)	
給付課 療養の給付等の支払事務 予算現額：410,547,153千円	19 負担金、補助及び交付金	療養給付費等	402,690,895	保険医療機関及び受領委任の協定が結ばれた施術所に対して診療報酬・施術費等を支払った。
		計	402,690,895	
給付課 訪問看護療養費の支払事務 予算現額：839,294千円	19 負担金、補助及び交付金	訪問看護療養費	763,013	居宅で継続して療養をうける被保険者に、看護師等が居宅で行う療養上の世話または必要な診療の補助について、診療報酬を支払った。
		計	763,013	
給付課 審査支払事務委託事業 予算現額：1,554,915千円	13 委託料	審査支払委託料	1,530,127	保険医療機関等から請求のあった診療報酬明細書等（レセプト）に係る請求内容の審査及び診療報酬等支払を行うため、事務委託した。 （審査支払手数料 15,471,405 件×@98.17 円 レセプトオンライン請求システム手数料 15,066,120件×@0.75 円）
		計	1,530,127	
給付課 高額療養費支給事務 予算現額：4,257,730千円	19 負担金、補助及び交付金	高額療養費	4,220,701	1カ月に支払った一部負担金等の合計が自己負担限度額を超えたとき、申請により超えた金額を高額療養費として支払った。
		計	4,220,701	
給付課 葬祭費支給事務 予算現額：1,585,900千円	19 負担金、補助及び交付金	葬祭費	1,545,000	被保険者が死亡した場合、申請により葬祭執行者に対して葬祭費を支給した。 （葬祭費30,900件×@50,000円）
		計	1,545,000	
給付課 健康診査委託事業 予算現額：1,374,771千円	13 委託料	健康診査委託料	830,476	被保険者の健康保持・増進のため、各市町村への事務委託により健康診査を実施した。（受診者数 146,698人 受診率27.4 %）
		計	830,476	

〈 参 考 资 料 〉

被保険者の加入状況(平成21年度)

	平成21年										平成22年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
人口(人)	7,151,054	7,159,987	7,161,961	7,164,458	7,166,424	7,167,956	7,170,362	7,172,779	7,173,913	7,174,179	7,173,680	7,173,754	
被保険者数(人)	538,046	539,840	541,172	543,075	545,300	547,290	549,575	551,651	552,902	557,356	560,747	564,410	
人口に占める被保険者の割合(%)	7.52	7.54	7.56	7.58	7.61	7.64	7.66	7.69	7.71	7.77	7.82	7.87	



注:人口は、埼玉県推計人口(毎月1日現在)による。
被保険者数は、広域連合の事業状況報告書A表(毎月月末現在)による。

○医療給付費の支給状況

件数：15,471,405件(レセプト件数) 一人当たりの医療費：817,701円

○高額療養費の支給状況

件数：589,117件 総額：4,220,701,503円(1件当たり：約7,164円)

○移送費の支給状況

件数：6件 総額：147,920円(1件当たり：24,653円)

○葬祭費の支給状況

件数：30,900件 総額：1,545,000,000円

○保健事業の実施状況

健康診査受診数：146,698人 受診率：27.4%

<参考>市町村における保険料収納状況

		割合*	調定額(円)	収納額(円)	収納率
現年度分	特別徴収	55.1%	22,711,504,960	22,711,504,260	100.00%
	普通徴収	44.9%	18,933,665,725	18,496,790,879	97.69%
	計	100.0%	41,645,170,685	41,208,295,139	98.95%
滞納繰越分			540,360,485	230,669,405	42.69%
合計			42,185,531,170	41,438,964,544	98.23%

* 収納額より算出 後期高齢者医療事業状況報告書(事業年報)B表(1)より

<参考>低所得者への軽減状況

	軽減判定所得区分(世帯)	被保険者数(人)	軽減額(円)
均等割9割軽減	33万円以下で、世帯の被保険者全員が年金収入80万円以下かつその他の各種所得がない	111,060	4,248,630,210
均等割7(8.5)割軽減	33万円以下	62,136	2,244,458,880
均等割5割軽減	33万円+(24.5×世帯主以外の被保険者数)万円以下	11,634	247,238,220
均等割2割軽減	33万円+(35×被保険者数)万円以下	35,615	302,854,150
均等割5(9)割軽減(被扶養)	制度加入直前に被用者保険の被扶養者であった者	69,014	2,638,421,160
所得割5割軽減	旧ただし書所得58万円以下	47,151	528,011,630

()内は実際の軽減割合

出納閉鎖直前の賦課状況(月次調定集計表)より H21現年度分のみ

○後期高齢者医療費等に係る決算状況

特別会計決算の中で、後期高齢者医療制度の事務執行に係る経費を除いた療養の給付費等に要する費用や保険料を財源として執行した事業費等の決算状況（後期高齢者医療費等に係る決算状況）を別にとりまとめました。

医療費等に係る歳入については、全体で4,335億6,246万9千円となっており、その内訳は支払基金交付金（現役世代からの支援金）が1,768億2,843万5千円で医療費に係る歳入全体の40.78%、国庫負担金（高額医療費負担金含む）が1,001億3,452万6千円で同23.10%、保険料負担金（市町村で徴収した保険料）が416億2,299万4千円で同9.60%、埼玉県からの療養給付費負担金（高額医療費負担金含む）が335億8,602万1千円で同7.75%、市町村からの療養給付費負担金が317億7,242万6千円で同7.33%、国庫補助金（調整交付金）が282億4,619万4千円で同6.51%、保険基盤安定負担金等が68億1,112万6千円で同1.57%、保険料減額措置等に係る保険料補てん分の補助金、交付金が27億2,290万7千円で同0.63%、健康診査事業に係る補助金が2億7,975万9千円で同0.06%、前年度繰越金が109億9,054万7千円で同2.53%、その他が5億6,753万4千円で同0.13%となっております。

医療費等に係る歳出については、全体で4,216億1,058万5千円となっており、その内訳は療養給付費（訪問看護費、高額療養費など含む）が4,076億7,475万8千円で医療費に係る歳出全体の96.69%、基金積立金（保険給付費支払基金）が49億7,530万7千円で同1.18%、審査支払手数料が15億3,012万7千円で同0.36%、葬祭費が15億4,500万円で同0.37%、健康診査事業に要する費用が8億4,274万4千円で同0.20%、財政安定化基金拠出金が4億6,063万2千円で同0.11%、償還金が42億6,146万4千円で同1.01%、長寿・健康増進事業に要する経費が1億7,311万5千円で同0.04%、その他が1億4,743万8千円で同0.03%となっております。

なお、これらについて図に表したものが次ページ「平成21年度 後期高齢者医療費等に係る歳入歳出決算の概要」であります。

平成21年度 埼玉県後期高齢者医療等に係る歳入歳出決算の概要

①歳入（後期高齢者医療費等に係る収入） 4,336 億円

(A) 国庫負担金 <small>(高額医療費負担金含む)</small> 1,001 億円 23.1%	(B) 調整交付金 <small>(国庫)</small> 282 億円 6.5%	(C) 県負担金 <small>(高額医療費負担金含む)</small> 336 億円 7.7%	(D) 市町村負担金 318 億円 7.3%	(E) 支払基金交付金 <small>(現役世代からの支援金)</small> 1,768 億円 40.8%	(L) 保険料負担金 416 億円 9.6%
対象額の3/12		対象額の1/12	対象額の1/12	対象額の4/10、現役並み被保険者分	

【実績見込955億円】

【実績見込326億円】 【実績見込315億円】

【実績見込1,761億円】

- (F) 繰越金
110 億円 2.5%
- (G) 保険基盤安定負担金等
68 億円 1.6%
(県3/4 市町村1/4)
- (H) 保険料軽減補填
27 億円 0.6%
- (I) 健診事業補助金
3 億円 0.1%
- (K) 第三者納付金等
6 億円 0.1%

②歳出（後期高齢者医療等に係る支出） 4,216 億円

(M) 療養の給付等に要する費用 <small>(療養給付費・訪問看護費・移送費・高額療養費など)</small> 4,077 億円 96.7%	保険料充当分 323 億円
---	------------------

保険料充当分
42 億円

- (N) 償還金
43 億円 1.0%
- (O) 保険給付費支払基金積立金
50 億円 1.2%
- (P) 長寿・健康増進事業費等
2 億円 0.04%

- (Q) 審査支払手数料等
15 億円 0.4%
- (R) 葬祭費
15 億円 0.4%
- (S) 財政安定化基金拠出金
5 億円 0.1%
- (T) 健康診査事業費
8 億円 0.2%
- (U) その他
1 億円 0.03%

③決算剰余金

歳入(4,336 億円) - 歳出(4,216 億円) = 120 億円

	決 算 額	実 績 見 込 額	返 還 予 定 額
国庫負担金精算	1,001 億円	955 億円	47 億円
県負担金精算	336 億円	326 億円	10 億円
市町村負担金精算	318 億円	315 億円	3 億円
支払基金交付金精算	1,768 億円	1,761 億円	8 億円
健診事業補助金精算	3 億円	2 億円	1 億円
調整交付金	282.46 億円	282.40 億円	0.06 億円
臨時特例基金(保険料減額)精算	26.49 億円	26.07 億円	0.43 億円
計			69 億円

④保険料剰余金

◎決算剰余金(120 億円) - 返還予定額(69 億円) = 51 億円

※金額は億円単位としているため、実際の決算額とは一致しません。